

## 県学年別大会に感謝

---



千葉明德中学校  
長島 花音

私は、コロナウィルスの影響で総体がなくなってしまい、これまでの練習の成果を発揮できない悔しさや戸惑いの気持ちがありました。学年別大会が開催されると聞いた時は、また目標に向かって頑張れる嬉しさの反面、長かった休校期間と再開後も制限の多い部活動でシャトルを打てなかったことへの不安な気持ちがありました。思うように練習できない中でも、最後の大会になる今回の学年別大会で悔いが残らないように、今の自分のベストを発揮できるように頑張ろうと思いました。そのために、手洗いや消毒、検温などを欠かさず、コロナウィルスの感染防止だけでなく、体育館の室温や湿度もこまめに計測しながら、熱中症の予防も意識して、夏休みの練習に取り組んできました。

大会の結果としては、自分の目標には届きませんでした。が、今の自分の实力を知ることができたこと、そしてこれからもっと頑張ろうと思うことができた大会になりました。また、久しぶりに他の中学校の人に会えたり、試合ができたことは、とても嬉しかったです。

中学最後の年に春の選手権大会や総体がなくなり、学校生活や部活動などでも制限がある中で、今回の大会を開催して下さった先生方に感謝の気持ちでいっぱいでした。また、ここまで成長させて下さった先生方にも感謝の気持ちでいっぱいです。中学校生活での私のバドミントンは終わってしまいましたが、中学で叶わなかった先生との目標を果たせるように、この先の高校生活でバドミントンができるありがたさと指導して下さる先生や先輩方への感謝の気持ちを忘れずに、目標に向かって頑張っていきたいと思いました。